

内臓動脈瘤のステントグラフト内挿術に関する臨床データの研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

内臓動脈瘤(腹腔動脈瘤、肝動脈瘤、脾動脈瘤、腎動脈瘤、腸間膜動脈瘤など)はまれな疾患で、多くは高齢者で破裂して初めて診断されることも少なくありません。外科手術で開腹し動脈瘤を切除して人工血管などを移植する手術を行ってきましたが、身体への負担が大きく、術後合併症も多いことが問題です。近年、胸部や腹部の大動脈瘤に対してステントグラフト内挿術が行われ、負担が少なく術後合併症も少ない治療と実証されています。

現在、内臓動脈瘤用のステントグラフトはありませんが、血管損傷に使用できるステントグラフトを、内臓動脈瘤に使用して安全性(術後合併症の低下)や有効性(入院期間の短縮)と長期成績(動脈瘤の縮小効果、破裂抑制効果)を観察します。

試料・情報の利用目的・方法(他機関への提供を含む)

定期的にCT検査、血液検査を行い、動脈瘤の計測データ、血液検査データを収集します。治療の安全性、治療効果を検証後、学術報告を行います。

対象者・期間

内臓動脈瘤の血管内治療(ステントグラフト内挿術)を受けた患者さま
術後5年まで

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師： 平原 浩幸

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)